

1. 教育目標

グローバルな視野と高い研究技能を兼ね備えた創造性豊かながん研究医療人の育成を目的とする。がんに関連する基礎医学、臨床医学、先端医療医学間の相互連携を強化することで、国際レベルの高水準の研究を実施する能力を高め、さらに、諸外国の研究者との交流を促進し、海外のがん専門医療機関との連携教育を通じて、国際的な共同研究遂行能力を培う。最終的には、豊かな人間性に基づく倫理観と高度な専門的知識を有し、将来、わが国のがん研究・教育・診療のリーダーとなり得る人材を養成する。

2. 到達目標

- (1)抗がん剤の薬力学および薬物動態学を修得する。
- (2)分子標的治療の基礎を理解し、臨床応用することができる。
- (3)ゲノム薬理学を理解し、がんの個別化治療に応用することができる。
- (4)バイオマーカーを用いた薬剤感受性および予後予測システムを構築することができる。
- (5)海外のがん専門医療機関における臨床実習を経験することで、グローバルスタンダードに基づいたがん薬物療法を習得する。

3. 成績評価の方法と基準

リサーチコースは、講義 6 単位、演習 6 単位、演習 1 6 単位に加え、腫瘍学Ⅰ基盤講義（医療現場・学際領域） 2 単位、腫瘍学Ⅱ横断講義（予防・研究開発） 2 単位を合わせた計 3 2 単位を必修科目として修得しなければならない。

成績の評価は、本学で定められた「成績の評価基準」に基づき、到達目標に対する達成度及び修得すべき基礎知識・技能の修得度により行う。

実験内容については実験ノートに記載し、指導教官が内容をチェックする。（30%）

研究成果と進捗状況をリサーチカンファレンスで定期的に発表し、他の研究者と共にディスカッションを行う。（40%）

大学院講義に出席し、講義内容についてはレポートを作成させ、理解度を評価する。（30%）

4. 教科書・参考書

必要に応じて参考資料等を配布する。

5. 準備学習

予習として、事前に指導教官とディスカッションの上、研究に必要な知識に関する文献を読み込んでおく。実際の実験手技については、プロトコルを確認し、イメージトレーニングを行っておく。（1時間以上）

復習として、実験については、その内容と結果をノートに記載し、問題点を指導教官に確認し、講義内容については、レポートを作成する。（1時間以上）

6. フィードバック方法

当該年度修了時に提出する「研究計画書」、又は「研究進捗・指導状況報告書」によりフィードバックを実施する。

(第1学年・昼間開講)

【臨床腫瘍薬剤制御学】

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
講義	抗がん剤の薬力学と薬物動態 分子標的治療の基礎と臨床応用 がん性疼痛制御法 放射線生物学と放射線治療 がん患者のQOL評価	木島 主 任 教 授 山門 主 任 教 授 廣瀬 主 任 教 授	月曜/4限	通年	4	8 - 4 カンファレンスルーム
実習	がんの生物学 がんの病理学 がんの分子生物学	大島 主 任 教 授	火曜/3-4限	通年	4	8 - 4 カンファレンスルーム
実習	内視鏡診断法の実践	富田 主 任 教 授	水曜/3-4限	通年	4	内視鏡センター カンファレンスルーム
演習	がん化学療法 臨床試験の立案と評価 トランスレーショナル研究の立案と推進 サイコオンコロジーの実践 各腫瘍評議会における症例発表	木島主任教授 山門主任教授 廣瀬主任教授 竹島主任教授 山本主任教授 松永主任教授	木曜/4限	通年	4	8 - 4 カンファレンスルーム等

(第1学年・夜間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
講義	抗がん剤の薬力学と薬物動態 分子標的治療の基礎と臨床応用 がん性疼痛制御法 放射線生物学と放射線治療 がん患者のQOL評価	木島 主 任 教 授 山門 主 任 教 授 廣瀬 主 任 教 授	木曜/6限	通年	4	8 - 4 カンファレンスルーム
実習	がんの生物学 がんの病理学 がんの分子生物学	大島 主 任 教 授	水曜/6-7限	通年	4	8 - 4 カンファレンスルーム
実習	内視鏡診断法の実践	富田 主 任 教 授	火曜/6-7限	通年	4	内視鏡センター カンファレンスルーム
演習	がん化学療法 臨床試験の立案と評価 トランスレーショナル研究の立案と推進 サイコオンコロジーの実践 各腫瘍評議会における症例発表	木島主任教授 山門主任教授 廣瀬主任教授 竹島主任教授 山本主任教授 松永主任教授	月曜/6限	通年	4	8 - 4 カンファレンスルーム等

(第1学年または第2学年・共通必修講義)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
講義	腫瘍学Ⅰ 基盤講義 (医療現場・学際領域)	阪神 5 大学サステナブルがん人材養成プラン教員	E-ラーニング	通年	2	—
講義	腫瘍学Ⅱ 横断講義 (予防・研究開発)	阪神 5 大学サステナブルがん人材養成プラン教員	E-ラーニング	通年	2	—

(第2学年・昼間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
講義	病期診断法 遺伝子診断法 バイオマーカー診断法	山門 主 任 教 授	月曜/4限	半年	2	8 - 4 カンファレンスルーム
演習	病理組織診断法 細胞診断法	大島 主 任 教 授	火曜/4限	半年	2	1 0 - 3 カンファレンスルーム
実習	内視鏡診断法の実践	富田 主 任 教 授	水曜/3-4限	通年	4	内視鏡センター カンファレンスルーム
実習	ゲノム薬理学 がんの個別化治療	木島 主 任 教 授	金曜/3-4限	通年	4	8 - 4 カンファレンスルーム

(第2学年・夜間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
講義	病期診断法 遺伝子診断法 バイオマーカー診断法	山門 主 任 教 授	水曜/6限	半年	2	8 - 4 カンファレンスルーム
演習	病理組織診断法 細胞診断法	大島 主 任 教 授	木曜/6限	半年	2	1 0 - 3 カンファレンスルーム
実習	内視鏡診断法の実践	富田 主 任 教 授	火曜/6-7限	通年	4	内視鏡センター カンファレンスルーム
実習	ゲノム薬理学 がんの個別化治療	木島 主 任 教 授	金曜/6-7限	通年	4	8 - 4 カンファレンスルーム